日本学術会議 第 24 期哲学委員会「世界哲学構築のための分科会」

第 1 回分科会 議事要旨

日時：平成 30 年 5 月 1 日（火） 16 時 00 分～18 時 00 分

場所：日本学術会議 2 階大会議室

出席 13 名：納富信留（世話人）、河野哲也、戸田山和久、藤原聖子、荻部直、野家啓一、上原麻有子、氣多雅子、島菌進、加藤隆宏、中島隆博、八木久美子、永井由佳里

欠席 2 名：隠岐さや香、吉水千鶴子

議題

1 自己紹介

（1）出席者自己紹介

（2）世界哲学会 WCP 2023 招致について

納富世話人より WCP 2023 の招致に至る経緯、及び、本分科会設立の趣旨を説明した。

野家委員より学術会議と FIPS との過去の関係について補足説明があった。19 期までは学術会議内に哲学研究連絡会議があり FIPS に加盟していたが、20 期から制度変更があり、JFPS（哲学系 6 学会）で合同加盟の形式になったとのこと。

2 分科会役員を選出と活動方針に関する討議

（1）役員選出

本分科会の役員として以下の 3 名を選出した。

委員長：納富信留

副委員長：上原麻有子

幹事：藤原聖子

（2）活動方針

河野委員より、WCP 開催にむけてしっかりした理念を立てるべきという提案があった。そのためにシンポジウムの開催、出版、内外での広報活動を行うという提案で、基本的に了承された。

納富委員より、今年度は日程調整が可能であれば 7 月末～8 月初めに WCP 北京大会の前に分科会を開き、秋と冬に一度ずつ会合、シンポジウムを企画するという活動方針が示され、了承された。

3 世界哲学会招致に関する情報・意見交換

WCP2023 の理念「世界哲学」について参加者から問題提起がなされ、意見交換が行われた。

島菌委員から、これまでばらばらに活動してきた哲学系の諸学会、社会学系の学会が連携して共同企画を進めていく必要性が示された。

藤原委員から CIPSH で進められている新たな企画との連携の可能性が示された。

4 その他

今後メールなどをつうじて情報・意見交換を進めることが確認された。

以上、納富（世話人）記